

MEIJI
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2016年10月20日

明治学院大学法学部 創立 50 周年記念シンポジウム

11月5日（土）白金キャンパスにて開催 ※入場無料・事前申込不要

明治学院大学法学部は、創立 50 周年を記念してシンポジウムを 11 月 5 日（土）に白金キャンパスで開催します。

本シンポジウムでは、各界の専門家を国内外から招きグローバル化社会における法学教育や法律、そして世界の諸問題について、来場者の皆さまとともに考えていきます。

ぜひ、イベントの告知ならびに取材のご検討をよろしくお願いいたします。

明治学院大学法学部創立 50 周年記念シンポジウム

■日時：2016年11月5日（土）13:00～16:15（開場 12:30）

■場所：明治学院大学白金キャンパス 2号館 2301 教室（〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37）

■プログラム：

第1部 基調講演 13:00～14:05

「多様性の時代に向かって」須藤正彦（弁護士・元最高裁判所判事）

多様性の波は、大学のミッションや学生にとってその過ごし方に少なからぬ変革を迫る、あるいは大学法学部間競争がもしあるとすれば競争のありように変革をもたらすのではないかと。多様性重視（尊重）の意味を探り、これがどのように大学や学生に変革を迫るものなのかを明らかにしていきます。

「フランス担保法改正とグローバル化」ピエール・クロック（パリ第2大学教授）

先般のフランス担保法改正作業においてその中心的役割を担ったクロック教授に、制定から 200 年以上を経たフランス民法典がどのようにグローバル化を受容し、どのように改正されたか、また今後改正されようとしているのかを、特に金融取引法の中心に位置する担保物権法に焦点を当てて講演していただきます。

第2部 シンポジウム「世界市民と世界正義」 14:05～16:15

「正義なき世界と世界正義」井上達夫（東京大学大学院法学政治学研究科教授、法哲学専攻）

「世界市民の領分—国民国家と世界国家の間」寺田俊郎（上智大学文学部哲学科教授）

「世界を断片化するもの、繋ごうとするもの」東澤 靖（弁護士、明治学院大学法科大学院教授、国際人権法）

急速なグローバル化により、どの国の「市民」も同時に「世界市民」としての自覚を求められる時代が到来しています。このシンポジウムでは、各パネリストに「世界市民」としての視角から、例えばアメリカの世界戦略における二重基準、人権優等生カナダの移民政策の欺瞞性、人道型 NGO と先進国・途上国政府との共犯関係、国際刑事裁判所の機能と限界など具体的な事例を挙げつつ、国境を超えた「世界正義」の諸問題について語っていただきます。

■参加費：無料、事前申込み不要 ■定員：200名 ■主催：明治学院大学法学部

■お問合せ先：明治学院大学法律科学研究所 TEL 03-5421-5209（平日 10:30～16:30）

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当：田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165（直通） Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp http://www.meijigakuin.ac.jp